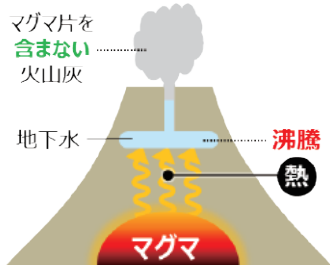


# 火山ハザードマップ

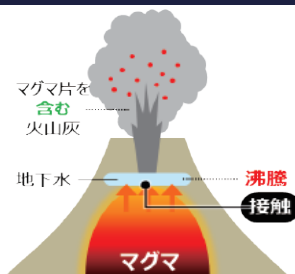
## 【火山の噴火の種類】

### 水蒸気噴火



マグマの熱によってあたためられた地下水が一気に沸騰し、周囲の岩石を吹き飛ばす爆発現象です。西暦2014年の御嶽山噴火がその代表例です。

### マグマ水蒸気噴火



上昇してきたマグマが地下水にふれると爆発が起こります。これがマグマ水蒸気噴火です。

### マグマ噴火



地下から上昇してきたマグマが、そのまま地表に噴き出す現象です。マグマの化学的な性質によって様々な噴火を起こします。

## 【噴火により起こる現象】

### 大きな噴石

爆発的な噴火によって火口から吹き飛ばされる岩は、火口から大砲の弾のように弾道を描いて飛び散ります。西暦2014年の御嶽山噴火で多くの方が犠牲になったのも大きな噴石が原因です。

### 火砕流・火砕サージ

数百度という高温の火山灰や軽石と火山ガスが、なだれのように火山の斜面を流れ下る現象を火砕流といいます。自動車よりも速く、破壊力が大きい、もっとも危険な火山現象です。

### 降下火砕物

噴火によって空高くあがった噴煙から火山灰や軽石が降ってくる現象です。遠くまで風に流されて降下するので、社会生活に深刻な影響を及ぼすことがあります。

### 溶岩流・溶岩ドーム

マグマが火口から流れ出したものを溶岩流といいます。ねばりけの強いマグマは火口の上にもそのまま盛り上がり、溶岩ドームになります。溶岩ドームが熱いまま崩れると、火砕流が発生することがあります。

### 降灰後の土石流

噴火によって噴出した火山灰がたまっていて、大雨が降ると土石流や泥流が発生することがあります。これらの土石流や泥流は、高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらします。

### 融雪型火山泥流

雪がたくさんある火山で、火砕流などが発生すると、その熱によって斜面の雪が融かされ大量の水ができます。この水が周辺の土砂や岩石をまきこんで流れだすと火山泥流になります。高速で遠くまで流れ、大規模な災害を引き起こすことがあります。

## 【十和田火山の融雪型火山泥流】

- 火砕流・火砕サージの影響範囲の雪が熱で融けて泥流が流れ下ることを想定しています。
- 泥流が集まって大きな流れとなる岩木川、奥入瀬川の流域について、泥流が氾濫する可能性がある場所をピンク色で示したものです。
- ここに示した以外の場所でも泥流の影響が生じる可能性があります。

## 十和田火山ハザードマップ 大規模噴火の場合(数十億 $m^3$ 規模のマグマ噴火を想定)



十和田火山防災協議会「十和田火山災害想定影響範囲図」より抜粋